

令和6年度第4回 地域のみなさまと学ぶ会を9月10日に開催しました。

在宅における褥瘡予防 ~それぞれができること~



今回は在宅で褥瘡発生の危険度を正しく予測するために開発された「床ずれ危険度チェック表」をもとに、それぞれの職種ができることをみなさんで考えていきました。

「床ずれ危険度チェック表」の8項目

- ① 自分で寝返りがうてない
- ② 痩せて、骨張っている
- ③ 足や腕の関節を伸ばすことができない
- ④ 食事量(回数)が減った
- ⑤ 身体が汗で湿っていることがある
- ⑥ おむつを常時使用している
- ⑦ 足が浮腫んでいる
- ⑧ ギャッチアップ機能を利用して体を起こしている

4個以上にチェックが付いたら「床ずれ」ハイリスクと判定します。

チェックが付いた項目に対して、ひとつずつ対策とケアを考え、どの職種と連携を図るかを考えていきます。

家族に必要な物品を用意してもらうための説明が難しい。うまく伝わらない。と皆さん話していました。



院外 16 名 院内 2 名の方が参加してくれました。

「地域のみなさまと学ぶ会」では、地域の医療・介護を支える多くの方との新たな出会いがあります。この出会いは、体験できない多くの経験を伺う学びの機会になっています。繋がることで得られる信頼は地域の財産です。みなさまのご参加をお待ちしております。



© 菊川市

がん罹患率 第1位は大腸癌
治療と生活の両立のために
担当: がん化学療法看護 岡本知子

作成: 皮膚・排泄ケア認定看護師 横山明子